

TOKYO MIDTOWN × ARS ELECTRONICA
第2回 未来の学校祭 開催！
“脱皮 / Dappi —既成概念からの脱出—”
2020年2月20日（木）～2月24日（月・振休）開催

東京ミッドタウン（港区赤坂 / 事業者代表 三井不動産株式会社）は2020年2月20日（木）から2月24日（月・振休）までの期間、昨年に続き2回目となるイベント「未来の学校祭」を開催いたします。

未来の学校祭はアート×テクノロジーを通じて、未来の社会をみんなで考える新しいお祭りです。コンセプトは「アートやデザインを通じて、学校では教えてくれない未来のことを考える新しい場」。アーティストによる社会への問いかけをきっかけに、様々なアーティストや企業、大学が来場者とともに未来の社会を考えます。

会場では、「アルスエレクトロニカ・フェスティバル」出展作品を中心に、エキシビション、パフォーマンス、ワークショップ、トークなど多彩なプログラムを実施。未来について考える重要なヒントが見つかるかもしれません。



【第2回テーマ】“脱皮 / Dappi —既成概念からの脱出—”

社会の中に存在する見えない壁。自分で作り出す限界。わたしたちは、気づかないうちに既成概念という枠の中に存在しています。本イベントでは、アート作品を通じて未来の社会を見つめ、視点の変化を促すことで、思考や既成概念から脱皮するきっかけを提示します。



Louis-Philippe Rondeau

自分自身から脱皮できる？

「アルスエレクトロニカ・フェスティバル 2019」出展作品も登場！

作品名：「LIMINAL」

現在と過去の境界を明らかにしようとする体験型作品。スリットスキャンと呼ばれる撮影技法を用いて、空間の中に時間が広がっていきます。光の輝く門として現れるインスタレーションは、時間的に歪みながらも、体験者を映し出していきます。

Louis-Philippe Rondeau（ルイ＝フィリップ・ロンドー）

写真技術史の研究を背景に、デジタルツールによって、アナログな写真が写し出すリアリティとは異なるデジタルならではのイメージを追求した作品を制作。（<http://patenteux.com>）



■掲載時の一般の方のお問い合わせ先■

東京ミッドタウン・コールセンター TEL：03-3475-3100

■東京ミッドタウンホームページ■ www.tokyo-midtown.com

「未来の学校祭 “脱皮 / Dappi —既成概念からの脱出—” 開催概要

- 【期 間】 2月20日(木)～2月24日(月・振休)
【時 間】 11:00～21:00
【場 所】 東京ミッドタウン各所
【主 催】 東京ミッドタウン
【特別協力】 アルスエレクトロニカ
【協 力】 東京ミッドタウン・デザインハブ
【助 成】 公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京
【パートナー】 株式会社アイ・エム・ジェイ / 株式会社 東芝 / 株式会社博報堂 /
株式会社博報堂アイ・スタジオ / 株式会社博報堂 DY ホールディングス・株式会社 MESON /
株式会社バンダイナムコ研究所 / 株式会社ポーラ /
グローバルスカイ・エデュケーション株式会社 / メルセデス・ベンツ日本株式会社 /
恵比寿映像祭 / DIGITAL CHOC (アンスティチュ・フランセ日本) /
Media Ambition Tokyo [MAT]

【東京ミッドタウンの取り組み意図】

東京ミッドタウンは、国際的クリエイティブ機関「アルスエレクトロニカ」との協働によって、より豊かで持続可能な未来の社会を形作るための様々なアイデアやイノベーションが次々と発信され、それに人々が触発されていく「場」となることを目指し、2017年より共同プロジェクトを実施しています。

【未来の学校とは】

「未来の学校」とは東京ミッドタウンとアルスエレクトロニカが協働しイベント参加者とともに、未来の社会を考えるプロジェクトです。コンセプトは「デザインやアートを通じて、学校では教えてくれない未来のことを考える新しい場」。東京ミッドタウンを舞台に、より豊かで持続可能な未来の社会を形作るための様々なアイデアやイノベーションを生みだし、それに人々が触発されていくことを目指しています。2019年2月に未来の学校を発展させた「未来の学校祭」を初開催いたしました。



▲昨年度初開催の様子。(左) 無脊椎動物のような巨大なゴムチューブが床をうごめくサウンド・インスタレーション「π Ton (ピトン)」。Cod.Actというアーティストによって作られた巨大チューブは人工的な音の装置を持った4人に囲まれて、曲がりくねり、動き回るその様に多くの方が足を止めた。(右) ジェイコブ・トンスキーによる「Balance From Within」は、古いソファが危ういバランスでギリギリ立っている作品で注目を集めた。

【アルスエレクトロニカとは】

「アルスエレクトロニカ」とは、オーストリアのリンツ市を拠点に40年にわたり「先端テクノロジーがもたらす新しい創造性と社会の未来像」を提案し続けている、世界的なクリエイティブ機関。アート、テクノロジー、社会をつなぐ出会いの場を創造し、横断的「未来」を提案。毎年開催されるメディアアートに関する世界的なイベント「Ars Electronica Festival」は芸術・先端技術・文化の祭典として知られています。

公式サイト <https://ars.electroica.art/news/en/>

東京を舞台に、エリアを超えて4つのアートイベントが連携

東京がメディアアートに染まる1カ月！



アートとメディアのイベントである「恵比寿映像祭」※1、「未来の学校祭」※2、「DIGITAL CHOC」※3、「MEDIA AMBITION TOKYO」※4 が、開催エリアやイベントの枠組みを超え、連携することで、東京のメディアアートシーンを一層盛りあげていきます。

2020年2月7日（金）～3月14日（土）（予定）の期間中、コラボレーションプログラムやイベントオーガナイザーを一堂に会したトークイベント、各イベントを巡るハッシュタグキャンペーン（#ARTANDMEDIA_TOKYO）などを実施します。

恵比寿映像祭 (恵比寿)	2月7日（金）～2月23日（日・祝）
未来の学校祭 (六本木)	2月20日（木）～2月24日（月・振休）
DIGITAL CHOC (飯田橋、渋谷、六本木、他)	2月20日（木）～3月8日（日）
MEDIA AMBITION TOKYO (渋谷、六本木、上野、他)	2月27日（木）～3月8日（日）、14日（土）（予定）

（各事業詳細）

※1 「恵比寿映像祭」

「皆で映像について考えてみよう」という姿勢のもと開催されているアートと映像の国際フェスティバル。映画、アニメーション、実験映像、ドキュメンタリー、現代美術ほか、多様なジャンルの映像芸術表現が一堂に揃います。

主催： 東京都、公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都写真美術館・アーツカウンシル東京、日本経済新聞社

会場： 東京都写真美術館、日仏会館、ザ・ガーデンルーム、恵比寿ガーデンプレイス センター広場、地域連携各所ほか

会期： 2020年2月7日（金）～2月23日（日・祝）（2月10日（月）、2月17日（月）休館）

※2 「未来の学校祭」

東京ミッドタウンと、オーストリアに拠点を置く世界的クリエイティブ機関「アルスエレクトロニカ」が協働した取り組み。アートとテクノロジーを通じて、イベント参加者とともに未来の社会を考える新しいお祭りです。

主催： 東京ミッドタウン

特別協力： アルスエレクトロニカ

会場： 東京ミッドタウン

会期： 2020年2月20日（木）～2月24日（月・振休）

※3 「DIGITAL CHOC」

メディアアートからビデオゲーム、アニメーション映画、電子音楽まで、新しいメディアの影響を受けた様々なジャンルの創造性、そして日仏の連携を幅広く紹介するフェスティバル。

主催： アンスティチュ・フランセ日本（在日フランス大使館文化部／フランス政府公式文化機関）

会場： アンスティチュ・フランセ東京、六本木ヒルズ、東京ミッドタウン、ゲーテ・インスティトゥート東京、渋谷 WWW ほか

会期： 2020年2月20日（木）～3月8日（日）

※4 「MEDIA AMBITION TOKYO」

MEDIA AMBITION TOKYO [MAT] は、テクノロジーアートを実験的なアプローチで都市実装するリアルショーケースです。期間中、都内各所を舞台に最先端のアートや映像、音楽、パフォーマンス、トークショーを展開します。

主催： 一般社団法人 Media Ambition Tokyo

会場： 渋谷スクランブルスクエア QWS、六本木ヒルズ、上野公園 他都内十数カ所予定

会期： 2020年2月27日（木）～3月8日（日）、14日（土）（予定）